

広報



# まつりだべ〜!!

9月14日。市役所駐車場で行われた秋まつり前夜祭。15〜17日の安全運行を祈願しました。(関連記事は8〜9ページ)

## 主な内容

- ・マイレールを守ろう……………2ページ
- ・市政改革プログラムを策定……………4ページ
- ・もぐらんぴあで110万人……………5ページ
- ・久慈秋まつり……………8ページ

10月1日号  
No.14

# 声



左から小野志穂美さん(久慈高1)、平谷舞さん(同)、小野亜紀子さん(同)

野田村から通学する久慈高校の生徒の皆さん。「通学は三鉄を利用しています。三鉄が無くなったら困るので、無くならないでほしい。あと、朝7時台の列車は混むので2両にしてほしいです」。



工藤クニエさん(小久慈町・67)

駅構内の三陸リアス亭で、おばちゃんのお客さんで親しまれる工藤さん。「楽しいのはお客さんとの会話。高校生はみんな孫みたいでかわいいよ。たまにおにぎりをあげたりしてる(笑)。三鉄の利用客が増えるのは嬉しいだろうけど、これ以上減らないでほしい。お客さんといつまでもここで会話がしたいね」。



中川原秀忠(三陸鉄道株)  
久慈事務所所長(62)

「若い世代の乗客へのPRをしていきたいですね。北山崎へ出かけてのウォーキングや企画列車などいろいろなイベントを展開しています。一度乗車してみてください。また、乗車してみたことや普段から感じていることなどを伺いたいと思いますので、お気軽にご意見をお寄せください」。

**沿線あつての三鉄**  
道路が整備され、車の機能も発達してドライブは快適になりました。大きな駐車場を備えた大型小売店も次々と出店し、車で買い物に訪れやす

なりました。三鉄・沿線地域30万人運動を展開しています。この運動は「沿線住民30万人が1年に1回、今までより多く三鉄に乗車しよう」というもの。この取り組みにより、1億3200万円(≒30万人×440円)の運輸収入増となり、赤字を解消することができま

す。この取り組みを続けると、平成23年には黒字になると試算しています。  
沿線住民の思い出が詰まったマイレール・三鉄。年に1回、当時は思い出して三鉄の旅を楽しんでみるのもいいのではないのでしょうか。

しかし、今でも通勤や通学、病院などで三鉄を利用する人はたくさんいます。三鉄が無くなると、市内の高校に通う学生、病院に通う高齢者は移動することが出来ません。三鉄はわたしたち沿線住民の悲願でした。生活に大きく役立ってきました。学生時代に通学で利用した方も多いのではないかと思います。

## マイレール 30万人運動乗車券

販売中

- ◆乗車券/2,000円金額式回数乗車券  
(100円券が22枚綴り→2,200円分なので、200円オトクです)
- ◆価格/1冊 2,000円
- ◆発売場所/久慈、陸中野田、普代、宮古などの各駅
- ◆その他/有効期限なし。いつでも使えます。

# 1年1回三鉄乗ろう

# 守ろう! マイレール

## 三鉄は存続の危機

昭和59年に地域の期待を背負って開業した三陸鉄道。「三鉄」の愛称で親しまれ、長く沿線住民の足として活躍してきました。その三鉄が今、赤字経営のため存続の危機に立たされています。



観光客から人気が高いレトロ列車

三鉄の利用客は昭和59年の269万人をピークに減少を続け、平成15年には107万人にとどまっています。これは、マイカー社会の進展や少子化などが主な原因です。三鉄は平成6年から赤字経営となり、現在の経常損失は1億2000万円以上です。このままでは来年度には赤字を補填するための三陸鉄道運営助

成基金が無くなります。

## ダイヤなど工夫を

レトロ列車やお座敷列車、そのほかりアス式海岸を望むことができる地点での車内アナウンスなどのような企画は観光客に大変好評です。熱烈な三鉄ファンも多く、観光客の利用者数は年々増加しています。



経営の岐路に立つ三陸鉄道

しかし、沿線地域あつての三鉄です。沿線住民が望んでいる運行時間や料金ほどのくらか。利用しやすい(利用したい)時間はいつかなどを考えたサービスを展開する必要があります。  
**年1度多く利用を**  
三鉄では赤字を解消するため、平成16年度から「マイレ

三鉄の経営が苦しい状況に立たされています。少子化などの影響で利用者が減少し、経常損失は1億2,000万円以上に。このままでは来年度に赤字を補てんする基金が無くなります。三鉄では、沿線住民に呼び掛け乗車を働きかけています。マイレールを守るため、1年に1回、お出掛けは三鉄で!

# 市政改革プログラムを策定

平成18年3月6日に旧久慈市と旧山形村が合併し、新久慈市が誕生しました。お互いの地域が一つになることにより、新たなまちづくりと活力ある行政運営の可能性が広がります。今後、融和と交流を進め、「夢・希望・未来に向かってひと輝くまち」を目指します。財政運営は、合併による効果はありますが、依然として厳しい状況にあり、少しでも無駄をなくし、収入を増やす努力をします。市民満足度の向上のために、次のように市政改革プログラムを進めますので、ご理解いただき、ご協力をお願いします。

## なぜ改革が必要なのか

全国的な少子高齢化、経済の低迷の問題を抱え、国庫補助負担金の削減、税源移譲および地方交付税改革の「三位一体の改革」などにより財源が縮小し続けています。このような中で、市は、多様化する市民ニーズについては、きちんと対応していかなければなりません。そのためには、限られた予算、施設、人材（市職員）を有効に使うため、事務事業については選択と集中を進めるとともに、予算については歳出を抑制し、歳入を強化しな

ければなりません。

また、これからのまちづくりは、できるだけ、市民、企業と市がそれぞれの役割を担いながら、一緒になって進めていく必要があります。

そのためには、市の情報を市民の皆さんに提供し、共有していかなければなりません。また、事務事業の選択と集中については、なぜこの仕事をするのかしなにかを情報提供し、きちんと説明して理解と協力を得ることが大切です。

## 何をやるのか

市政改革プログラムでは4つの柱を設け、それに基づい

## どのようにやるのか

次の5つの視点により市政を見直し、改革・改善を行います。

- ① 必要性 目的、必要性、緊急性が薄らいでいないか。
- ② 妥当性 市が関与しなればならない事業なのか。
- ③ 公平性 受益と負担に偏りはないか。
- ④ 効果性 事業の成果(目的)は達成されているか。
- ⑤ 効率性 効率的か。また、

## 米、麦、大豆生産者の皆さんへ

# 助成制度が変わります

来年の4月1日から国の新たな農業政策が始まります。これにより、現在の「担い手経営安定対策」「麦作経営安定資金」「大豆交付金」に変わり、新たに「品目横断的経営安定対策」が導入されます。

## ◇新たな助成内容

《米、麦、大豆》  
価格の下落によって、担い手の収入が減った場合に、減収額の9割を補てんします。  
※これとは別に、麦と大豆には、過去（平成16～18年）の麦作経営安定資金、大豆交付

金に加入していた生産実績と、毎年の生産量・品質に基づいて助成されます

## ◇対象者と加入条件

次の面積の田畑を経営していることが条件です。  
(1) 認定農業者：旧久慈市で2.7畝以上、旧山形村で2.6畝

～4畝の田畑を経営していること。

(2) 特定農業団体：旧久慈市で13.6畝以上、旧山形村で10～20畝の田畑を経営していること。

ただし、これらの面積条件を満たさない場合でも特例があります。(左表を参照)

新たな対策への加入申し込みは、平成19年4月1日～6月30日（秋まき麦は今年の11月30日）までです。

▽問い合わせ⑥農政課（内線313）

※「特定農業団体」：集落全体で共通の農業機械を使用し、共同で農作業を実施する団体。共同作業をすることから、規約の作成、経理の一元化などが必要で

## 加入条件の特例

それぞれ①②のどちらかを満たしていれば加入できます。

・認定農業者…①農業所得が180万円以上で、米・麦・大豆の合計所得が農業所得の27%以上であること。②農業所得が180万円以上で、米・麦・大豆の作付け面積が経営している田畑の面積の27%以上であること。

・特定農業団体…①主な従事者の農業所得が180万円以上で、特定農業団体の米・麦・大豆の合計所得が、特定農業団体の農業所得の27%以上であること。②主な従事者の農業所得が180万円以上で、特定農業団体の米・麦・大豆の作付け面積が、特定農業団体等が経営している田畑の面積の27%以上であること。

## 市民満足度の向上

行政サービスの向上↑

- 1 財政運営の健全化
  - ① 財政健全化計画の策定
  - ② 公共施設の管理運営
  - ③ 補助金、負担金等の見直し
  - ④ 公共工事のコスト縮減
  - ⑤ 出資・関係法人の見直し
  - ⑥ 市有地・施設の有効活用
  - ⑦ 使用料・手数料等の見直し
  - ⑧ 税・使用料等収納対策
- 2 簡素で効率的な行政システムの構築
  - ・ 組織・定数・職制の見直し
  - ⑩ 人事給与制度の適正化
  - ⑪ 広域連携の推進
- 3 市民の参画と協働によるまちづくり
  - ⑫ 協働の推進
- 4 行政運営の透明性の向上
  - ⑬ 広聴広報
  - ⑭ 各種情報提供

限られた職員、施設、予算の中、優先順位の高い事務事業を実施します。そして実施すると決めたら迅速に行います。

## プログラムを進める方法

市政改革プログラムを進めるための方法としては、①工程表を作成し、進捗を管理する。②庁議の構成員による市政改革プログラム推進本部により実施する。③行政評価を

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

■問い合わせ■  
⑥政策推進課（内線246）

## 市政懇談会を開催

市は、「久慈市総合計画基本構想(案)」を主な内容として、次の日程で市政懇談会を開催します。開始時間はすべて18時30分からです。  
▶問い合わせ=⑥まちづくり振興課（内線250）

日時	会場
10/30(月)	山根公民館
10/31(火)	大川目公民館
11/1(水)	宇部公民館
11/2(木)	侍浜公民館
11/6(月)	元気の泉
11/7(火)	おらほーる
11/8(水)	市役所本庁舎(団体を対象)
11/9(木)	小久慈公民館
11/13(月)	久慈商工会議所
11/14(火)	夏井改善センター
11/15(水)	長内公民館

## もぐらんぴあ

# 110万人達成!

青森県  
おいらせ町  
齊藤さん



もぐらんぴあ（高畑辰巳館長）では9月9日、入館者110万人を達成し、館内ロビーでセレモニーが行われました。もぐらんぴあは平成6年4月22日に開館。12年目で110万人達成となりました。見事110万人目を射止めたのは、青森県おいらせ町から家族4人で訪れた齊藤一也さん(43)。セレモニーでは、齊藤さん家族と山内隆文市長、佐藤正文・日本地下石油備蓄久慈事業所副所長がくす玉を割りました。

山内市長から、こはく製のブローチや海産物セットなどが、また、佐藤副所長から、ガソリン約160リットルのプリペイドカードが送られました。齊藤さんは「もぐらんぴあには初めて来ましたが、びっくりしました。これを機会にまた久慈に来てみたいです」と声をはずませていました。

次はもっと高い木に



「眺めは？」—「サイコー！」

ツリーイング体験会は8月26日、市内外の小学生24人が参加して福祉の村で開催されました。児童たちは、インストラクターの指導の下、ロープと自分の力だけの木登りを体験。緑に囲まれた屋外ならではの遊びを楽しみました。

一生懸命登った木の上から眺める景色は格別だったようで、塩倉悠晴君（久慈小4年）は「次はもっと高い木に挑戦したい」と笑顔で汗をぬぐっていました。

市の指定文化財を見学



文化財に興味深く見入る参加者たち

市内にある指定文化財を見学する文化財めぐりは8月26日、行われました。市民23人が参加し、山根町や小久慈町にある高山彦九郎の歌碑（小久慈町）や熊野神社のイチイ（山根町）など15カ所の指定文化財を見学しました。

参加した日影野文太郎さん（小久慈町・73）は「地元に住んでいても見る機会はなかなかない。また参加したい」と興味深そうにしていました。

▶するどい技の応酬が繰り広げられました  
▼東北6県の小中学生と一般の選手や監督など630人92団体が参加。約800人の観客が声援を送りました



柔道一直線！三船杯争奪

本市の名誉市民である三船久蔵十段を顕彰して行われる第44回三船十段杯争奪柔道大会は9月10日、市民体育館で開催されました。久慈地区からの参加者の主な成績は次のとおりです。（敬称略）

《団体戦》 【中学校の部】▽2位：長内中▽3位：侍浜中 【高等学校の部】▽3位：久慈高 【一般の部】▽2位：久慈市柔道協会▽3位：三船十段記念館  
《個人戦》 【少年高学年の部】▽3位：工藤賢楓（三船十段記念館） 【中学生男子の部】▽3位：大澤翔弥（長内中） 【中学生女子の部】▽2位：野田美帆（侍浜中）▽3位：中村茜（野田中） 【高校男子の部】▽優勝：久保田有亮（盛岡中央高・長内中出身）▽3位：桑田祐紀（久慈工業高） 【高校以上女子の部】▽3位：佐々木明美（久慈高） 【一般の部】▽3位：成谷大善（久慈市柔道協会）

脱穀作業はタイヘン！



昔の人の脱穀作業は大変！

来内小学校（西岡健一校長、児童数14人）では9月12日、来内地区で農業を営む中上辰雄さん（69）の指導の下、南部小麦の脱穀作業を行いました。同小では、地域とのかかわりを大切にするため、このような取り組みを続けています。

南部小麦は昨年の秋に植え、7月に収穫したものです。中上さんの自宅にある唐箕（脱穀機）や千石落とし（実と殻を分ける機器）など、昔ながらの道具を使って脱穀作業が行われました。川代薫さん（6年）は「脱穀は上手くできなくて難しかった。でも、昔の人たちがどうやって作業していたかわかった」と話していました。

秋空にナイスショット

第9回県パークゴルフ選手権大会（県パークゴルフ協会連合会主催）が9月3日、平庭高原パークゴルフ場で開催されました。同大会は、平庭高原パークゴルフ場がおとし公認コースに認定されて以来、初めての開催で県内から約140人が参加しました。

参加者はさわやかな秋晴れの中、笑顔でプレーを楽しみました。中には、ホールインワンが飛び出すなど好プレーも続出しました。

市パークゴルフ協会からは25人が参加。佐々木喜代志さん（山形町・50）は「目標はスコア120を切ること。たくさんの人と交流してプレーを楽しみたいね」と笑顔を広げていました。



初秋の平庭をスポーツで満喫！



手を入れるとドクターフィッシュが寄ってきます

ようこそ！お魚さん

もぐらんぴあ（高畑辰巳館長）の出張水族館が9月5日、小国小学校（吉田幸子校長、児童数6人）を訪れました。もぐらんぴあのお魚たちと触れ合ってもらいたいと昨年から開催しているもので、今年初の出張です。

この日は、もぐらんぴあのお魚たちと一緒にイソギンチャクやクマノミ、ハリセンボンなどが来校。古くなった皮膚を食べてくれるので美容に良いと評判のドクターフィッシュの水槽に手を入れると、ドクターフィッシュが次々と手や指に寄り付きはじめ、児童たちは「くすぐった〜い」と歓声を上げていました。

柿木啓弥君（2年）は「サカナ同士がかかわって生活していることがよくわかった」と感心していました。



**流**し踊りは列を成し、一糸乱れぬ踊りで観衆を魅了した



**久**慈中学校吹奏楽部は中日パレードの先頭で登場。華やかな幕開けを演出した



**笑**顔で出番を待つ稚児行列。大役をしっかりとこなした



**祈**る3日間の運行の無事。前夜祭では、みこしと山車が競演した



**勇**壮な太鼓を響かせる祭人たち。大音響は空を突いた

# 久慈秋まつり 秋告げる祭典

県北最大の久慈秋まつりは9月14日の前夜祭を皮切りに17日まで市内の目抜き通りで開催された。

けんらん豪華な山車の灯は夜空を焦がした。うたいあげる音頭がまちを揺らした。



**音**頭あげは各組の見せ場。大人も子どもも声を枯らしてうたった



**綱**を引く子どもたちの「よーいすよいさー」は疲れを吹き飛ばした

**観**客であふれた沿道。年に1度の祭典を楽しんだ

**歴**史絵巻がよみがえる。笛や太鼓、音頭がまちを彩った



**神**代をほうふつとさせる獅子舞。交差点は舞台と化した



# 子育て支援センターだより

52-3210

■10月の予定■  
 ◎3日(火)赤ちゃんサロン13時30分～15時30分  
 ◎5日(木)うさこちゃんの部屋11時～12時 ◎  
 10日(火)ひよこ教室10～12時 ◎11日(水)あそ  
 びの広場(大川目公民館)10時～12時 ◎17日  
 (火)救命救急法10時～12時 ◎18日(水)赤ちゃん  
 サロン13時30分～15時30分 ◎23日(月)園庭  
 開放(小久慈保育園)10時～12時 ◎26日(木)絵  
 本の読み聞かせ10時30分～11時30分

■利用案内■  
 対象…就学前の児童とその保護者  
 利用時間…毎週月～金曜日、8時30分～17時  
 (土曜日は8時30分～12時)  
 お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日、年末年始  
 利用料…無料

## ウェルカム ようこそ!久慈へ

英語指導助手が初登庁



初登庁し、市職員から歓迎を受ける英語指導助手の皆さん(左から、メリッサさん、キャリアさん、デボンさん)

市教育委員会の新しい英語指導助手として8月28日、メリッサ・ボックホルドさん(22)、キャリア・ライリーさん(同)、デボン・ピジーノさん(同)の3人が着任し、市役所本庁舎のロビーで歓迎式が行われました。それぞれ英語や日本語で自己紹介し、「ここで教えるのが楽しみです」と話しました。山内隆文市長が「日本の文化にたくさん接して。困ったことはいつでも相談してください」と歓迎しました。

メリッサさん、キャリアさんは旧久慈市内の小中学校で、デボンさんは旧山形村の小中高校で、2年間英語の指導にあたる予定です。

# 図書館だより

## 今月のオススメ図書

### <児童向け>

「3びきのくま」(山形図書館)  
 いもとようこ 文絵 爛金の星社

3びきのクマと女の子の挿絵がとってもかわいらしい絵本。「おおきい」「ちゅうくらい」「ちいさい」の繰り返し言葉がいっぱいできます。繰り返しの中で少しずつ変化していく言葉のおもしろさを声に出して読んでみてください。



### <一般向け>

「トマトときゅうりの本」(市立図書館)  
 蘇川博、下川憲子 著 農山漁村文化協会



えっ、トマト・きゅうりを温めて食べるの!  
 万病のもと「冷え」からからだを守り、むくみ、のぼせの解消、抗がん・抗老・美容・ダイエットにも。目からウロコが落ちる家庭薬膳50品を紹介。

### <市立図書館>

開館時間：火～金 9時～19時、土日 9時～17時 休館日：月曜日、国民の祝日(祝日が月曜日に重なる場合、翌日が振替休館日)、毎月末日

- おはなし会(チビッコの部屋) 10/14(土)、10/28(土)14時～
- 図書館えいがかい 10/28(土)①10時～②15時～:「おしゃれなクジャク」、「負けるな!千太」ほか
- 図書館ボランティア等養成講座 10/28(土)13時～16時

※チビッコの部屋…ボランティアによる絵本などの読み聞かせ

### <山形図書館>

開館時間：10時～18時 休館日：毎月月曜日、毎月末日

## 図書館おすすめ本展

期間 10/27(金)～11/12(日)  
 会場 市立図書館  
 内容 一般書から絵本までテーマ別に貸し出します  
 ※テーマ…①元気が出る絵本・読物 ②紅葉 ③「旅」を味わう ④隣のヒーロー ⑤赤ちゃんのいる生活 ⑥お金が貯まる、得する本 ⑦おいしいお話 ⑧よりよい身体作りのために ⑨ご飯の友 ⑩大型絵本

## 10/16～10/22は行政相談週間 お気軽にご相談を

総務省では、国の役所や公団などの仕事をはじめ、県や市町村が国から委託されたり国の補助金を受けて行っている仕事について、皆さんが日ごろ感じている不満や要望をお聞きし、その改善を図る「行政相談」を行っています。相談委員が、道路・河川、保険・年金、登記、労働などについて、相談に応じます。お気軽にご相談ください。相談は無料。秘密は守られます。

《市の行政相談委員はわたしたちです》  
 黒沼 正雄さん(52-3533) 川口キクエさん(58-2611)  
 落合初次郎さん(72-2233)

月日	時間	会場
10/16	10:00～12:00	侍浜公民館
	13:30～15:30	山根公民館
10/17	10:00～12:00	宇部公民館
	13:30～15:30	山形総合支所
10/19	10:00～12:00	おらほーる
	13:30～15:30	大川目公民館

▶問い合わせ=☎市民課(内線266)

## 年金だより⑥ 遺族基礎年金 年金の免除申請

問い合わせ  
 ☎国保年金課(内線275)  
 ☎住民生活課(内線142)

■遺族基礎年金  
 一家の働き手に先立たれたときに受けることができます。

■年金を受けられる条件  
 年金を受けられるのは…亡くなられた方によって生計を維持されていた子のある妻、または18歳未満の子です。また、それに加えて、亡くなられた方が次のいずれかに当てはまる場合に受けられます。

- ①国民年金に加入している方
- ②国民年金に加入したことがある方で、年齢が60歳以上～65歳未満の方
- ③老齢基礎年金を現在受けているか、受給資格を満たしている方
- ④老齢基礎年金の資格期間(25年間)を満たしている方

※①、②の場合、亡くなった日の前々月までの被保険者期間のうち、2/3以上保険料を納めた期間(免除期間を含む)があることが条件です

### ◇免除申請を受け付けます◇

国民年金保険料の支払い免除の申請を受け付けます。免除する期間は平成17年4月～平成18年6月(学生は3月)まで。受け付けは、10月31日までです。

## 秋の狂犬病予防注射

飼い犬の登録と狂犬病予防注射を行います。本年度まだ受けていない飼い主は必ず受けさせてください。(個別に動物病院でも受けられます)

▶対象=①注射していない犬…通知はがき+注射料金3,100円②登録していない犬…注射料金3,100円+登録料金3,000円=6,100円

### 【10/17】

10:00～10:20	山根公民館
10:40～11:00	岩瀬張公民館
11:15～11:35	小久慈公民館

### 【10/18】

9:30～9:50	大川目公民館
10:05～10:25	大川目育苗施設前
10:40～11:00	市民体育館
11:10～11:40	市役所西側駐車場
13:00～13:20	宇部地区デイサービスセンター脇
13:35～13:55	上長内公民館
14:10～14:30	元木沢停留所脇
14:50～15:00	小袖漁村センター前
15:20～15:30	久喜公民館前

### 【10/19】

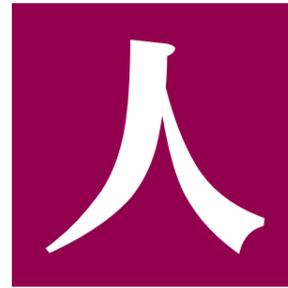
13:10～13:30	侍浜支所
13:45～14:05	北野公民館
14:20～14:40	旧高砂公民館脇
14:55～15:15	夏井改善センター

### 【10/19 山形地区】

9:20～9:30	戸呂町消防屯所前
9:35～9:40	岡堀公民館前
9:50～9:55	出ル町ふれあいステーション前
10:00～10:10	日野沢消防屯所前
10:20～10:25	新落安橋付近
10:30～10:40	荷軽部地区集落センター
10:55～11:05	来内地区集落センター
11:15～11:20	九戸高原橋付近
11:35～12:00	老人福祉センター前
13:10～13:15	日影橋付近
13:20～13:25	南野市蔵氏宅前
13:30～13:40	霜畑コミュニティセンター
13:50～13:55	小国JR回轉場付近
14:00～14:05	宅石茂義氏宅前
14:45～14:55	繋地区消防コミュニティセンター
15:05～15:10	向屋敷伝承館前
15:15～15:20	新田集会所前

### 大好きな美術にかかわっていたい

そね たつ や  
**曾根 達也さん**  
長内町・38歳  
教師



「小学校の頃、地元の青森市のねぶたまつりの様子を描いた絵が、優秀な作品として学校の体育館に貼り出されたんです。それがうれしくて。ほめられると伸びるタイプなんですわね」。小さい頃から絵を描くのが好きだった曾根さんは、現在、美術の教師として久慈高校に勤めています。

「自分の好きなことを仕事にできるのは、やりがいもあるし楽しい。生徒の課題のために見本を作るときなど、ついつい楽しくて本気で作ってしまいますよ」。

プライベートでの最近の趣味は、インターネットでいろいろなホームページやブログ（日々更新される日記状のウェブサイトのこと）を見ること。自分でもブログを作成し、育児についてのことや自分の生活のことをつづっているそうです。

今の楽しみは2歳の娘のこと。「かわいくてしょうがないけど、しつけはしっかりやっていますよ。でも、生徒には娘の話をよくするので、親バカ」と思われているかもしれませぬね(笑)とデレデレ。

部活動と違い、「芸術」の授業は美術・音楽・書道の選択制。なので、必ずしも美術が好きではない生徒もいます。「教師として、美術が得意でない子“好きでない子”に美術って楽しいんだ。上手い下手とは違う楽しさがあるんだということを伝えたい。誰だって最初から上手に描けるわけじゃない。僕もほめられたことで刺激を受けて絵を描くようになって、自然と技術がついたのかなと思います」。

「将来、教師を退職しても大好きな美術にかかわっていたいですね。そのときの相手は、近所の子どもたちや絵が好きなたち。なんでもいから描いてごらん。そんな雰囲気でも温かく見守りながら美術と接していきたいですね」。

## がっこうウオーク

侍浜小学校  
(菊池誠校長、児童数161人)

9月18日は「敬老の日」。おじいちゃん、おばあちゃんを大切にする日です。

敬老の日に合わせて、侍浜小学校では9月20日、祖父母参観授業を行いました。児童のおじいちゃんやおばあちゃん、地元の老人クラブなどからたくさんの方たちが学校を訪れます。5年以上前から毎年行われ、今ではすっかり定着した学校の恒例行事です。

授業参観が終わると、コマ遊びやしめ縄、ミミッコモチなどの作り方講習会が始まります。児童たちはおじいちゃん、おばあちゃんから昔遊びを教わります。「高齢者との交流や思いやり、感謝の気持ち育てたい」と工藤彰範(あきひろ)教頭。

児童にとっても、この日は年に1度、学校でおじいちゃん



おばあちゃんからしめ縄飾りの作り方を教わる児童（4年生）

ん、おばあちゃんと交流できる日です。3年生はコマ回しを体験。おじいちゃんが手本で鮮やかにコマを回すと「おもしろい」と歓声が上がりました。本波稔成君(のりなり)3年生は「コマ回しは知らなかったけど楽しい。もっと練習して上手に

なりたい」と何度もチャレンジしていました。また、お手を教えた林崎ヤイさん(77)は「子どもに教えるのは楽しい。最近やっていないので懐かしいです。子どもはすぐ上手になりますね」と笑顔を広げていました。

### 平成18年度全国地域安全運動を展開します

10月11日から20日まで

近年、全国的に児童などが被害者となる犯罪が多発しています。このことから、地域ぐるみでの防犯活動を展開し、安心して暮らせる地域社会を実現することが求められています。市と久慈警察署、各防犯協会などでは、市民の皆さんと連携して、全国地域安全運動を展開します。運動の間は、10月11日～20日までです。

#### 《運動の重点》

① 子どもの犯罪被害の防止

② 住宅を対象とする侵入犯罪(空き巣など)の防止

③ 街頭でのひったくり、性犯罪の防止



#### 《犯罪を地域ぐるみで防ごう》

① 地域ボランティアで守ろう

市民ボランティアによる防犯パトロール員が黄色い帽子をかぶってパトロールしています。学校でも児童を見守る活動が行われています。地域ぐるみで児童たちを守りましょう。

② 外出、乗り物から離れるときは「カギかけ」を

空き巣や物取りの被害にあった方は施錠していないことがほとんどです。岩手県は施錠率が低く、中でも久慈市は低いです。カギかけを徹底しましょう。

## チームワークで金賞

### 久慈高音楽部が初の金賞を受賞

久慈高校(高橋清也校長、生徒数578人)音楽部(竹田理紗部長、部員数28人)が、9月2日に岩手県民会館(盛岡市)で開催された第59回全日本合唱コンクール岩手県大会で金賞を受賞しました。同校音楽部史上、金賞の受賞は初。昨年に続き、東北大会への出場を決めました。

コンクールでは、課題曲と自由曲を合唱し、5人の審査員が50点満点で採点。同校を含め、5校が金賞を受賞しました。

昨年は銀賞を受賞して東北大会へ。今回は昨年の成績を上回る金賞での出場です。顧問の阿部靖子教諭は「チームワークが良かった」と評価。1～3年生まで全員が同じ舞台上上がる「合唱」。「経験やレベルの差があるのは当然。その下級生との差を上級生がしっかりとサポートして埋めてくれた」と昨年以上の成績の要因を分析しました。

昨年の東北大会は3位。不來方高校に1点差で敗れ、全国を逃しました。いまだ「全国」のキップを手にしたことがない同校。竹田部長は「聴いている人が感動できるように歌いたい。目標は全国大会出場」と高らかに宣言していました。



音楽部の皆さん。(竹田部長は前列左から3人目)

※東北大会は名取市文化会館(宮城県)で9月29日に開催されました

# 暮らしのお知らせ

このページでは、暮らしに役立つ情報をお知らせします。

- ★本庁舎 52-2111
  - ★総合支所 72-2111
  - ★宇部支所 56-2111
  - ★侍浜支所 58-2111
  - ★山根支所 57-2111
- ※☎は本庁舎、☎は総合支所です

## 相談

### 巡回児童相談を開催

- ▷日時=11月7日(火) 9時～
- ▷会場=元気の泉
- ▷相談対象=①療育手帳、障害児保育などの福祉制度にかかる相談(知的障害、自閉症、軽度発達障害など心身に障害のある児童相談も含む) ②言葉の発達などに遅れのある児童についての相談 ③反抗、強情、内気など性格上のことで困ったり、悩んだりしている児童についての相談ほか
- ▷申し込み=10月13日まで。☎社会福祉課(内線295)

## お知らせ

### 就学時健康診断を行います

来年4月に入学する幼児を対象に、次の日程で健康診断を行います。10月

## ソフトバレー交流大会

参加チームを募集!

- ▷日時=10月29日(日) 9時30分開会
- ▷会場=市民体育館
- ▷チーム構成=①トリム・ゴールドの部(60歳以上の男女各2人) ②トリム・シルバーの部(40歳代の男女2人と50歳以上の男女2人) ③トリム・フリーの部(男女各2人。年齢制限なし) ④レディースの部(女性のみ。年齢制限なし)
- ▷参加費=1チーム 3,000円
- ▷申し込み=10月10日まで。☎社会体育課(内線464)

上旬に対象幼児の保護者あてに通知文書を郵送します。

▷問い合わせ=☎総務学事課(内線436)

月日	受付時間	対象校	会場
10/23	12:20~12:40	長内小	長内小
10/24	12:30~12:50	小久慈小 山根小	小久慈小
10/25	12:30~12:50	久慈湊小	久慈湊小
10/27	12:30~13:00	久慈小	久慈小
10/30	12:30~13:00	枝成沢小	
10/31	12:35~12:50	宇部小	宇部小
11/1	12:45~13:00	久喜小 小袖小	久喜小
11/6	12:30~12:50	侍浜小 角柄分校 麦生小	侍浜小
11/7	12:45~13:00	夏井小 平山小	平山小
11/10	12:35~12:50	大川目小	大川目小
11/15	12:30~12:50	山形小 小国小 霜畑小 戸呂町小 繫小 日野沢小 荷軽部小 来内小	山村文化交流センター(おらほーる)

## 名画上映会

1980年代の優れた映画を上映します。

【10月14日(土)】

「遠雷」10時~12時15分

▷主演=永島敏行

「転校生」13時30分~15時23分

▷主演=尾美としのり、小林聡美

【10月15日(日)】

「夢千代日記」10時~12時9分

▷主演=吉永小百合

「花いちもんめ」13時30分~15時35分

- ▷主演=千秋実
- ▷会場=アンバーホール小ホール
- ▷入場料=1作品 500円
- ▷問い合わせ=社会文化課(内線452)

## 第18回ホーム祭を開催

久慈市勤労青少年ホームでは、第18回ホーム祭を開催します。

- ▷日時=10月15日(日) 9時~15時
- ▷会場=同ホーム
- ▷内容=茶席、アロマテラピーの実演、演奏、作品展示など
- ▷問い合わせ=同ホーム(53-2320)

## 屋内温水プール臨時休場

福祉の村屋内温水プールでは10月10日~13日まで、水の入れ替えのため臨時休場します。

- ※14日から平常どおり開場します
- ▷問い合わせ=久慈市社会福祉協議会(53-3377)

## 募集

### 職能開発センター入校募集

県立久慈職業能力開発センターでは、平成19年度生の入校生を募集します。

- ▷募集科=普通課程建築科(高卒以上)
- ▷修業年限・定員=1年・10人
- ▷出願期間=◇推薦…10月10日~20日  
◇一般…11月16日~30日
- ▷選考日=◇推薦…10月27日◇一般…12月7日
- ▷問い合わせ=同センター(53-6261)

### 秋の農作業安全月間 9/15~11/15

「慣れた場所 いつもの作業も要注意 今日も初心で 農作業」

秋の農繁期は農作業の危険性が高くなる時期です。

- 農作業事故を防ぐためには…
- ①ゆとりある計画的な作業をする。
  - ②夕暮れ時は夜光反射材を付ける。
  - ③家族には作業場所と帰宅時刻を知らせ、機械スイッチの停止方法を教える。

## やませの里 結いっこフェスタ

入場無料

日時 10月29日(日) 13:30~

会場 アンバーホール大ホール

内容 ステージ発表、やませギャラリー、やませショップ(障害者団体などのステージ発表、製作品の展示・販売)

■問い合わせ 久慈地方振興局(53-4982)

## 久慈地方産業まつり

10月20日(金)~22日(日)

10:00~16:00(22日は15:00まで)

会場: アンバーホール周辺

商工まつり、農林畜産まつり、水産まつり、技能まつり、生活まつりなどを開催。

同時開催! 躍進いわての産業まつり

県内の特産品、地場産品を徹底販売! 郷土料理の実演紹介コーナーなど。

■問い合わせ/☎商工観光課(内線352)

## あれこれ 掲示板

### 市営住宅の入居募集

◇川井団地1戸(月2,900円~4,800円) ◇宇部和野平地区住宅1戸(月2,000円~3,300円) ◇萩ヶ丘地区住宅1戸(月3,800円~6,300円) ※家賃は収入により算定します◇定住促進住宅(山形町川井)1戸(定額10,000円) ◇申し込み=10月16日まで。☎建築住宅課(内線392)、☎産業建設課(内線122)

### 山根名水めぐりと清掃

◇日時=10月21日(土) 9時市役所本庁舎集合。(雨天決行) ◇内容=「穴窪失せ水洞」「中戸鎖洞」「べっぴん姉妹の泉」の視察と周辺の清掃。桂の水車での研修会。講師…遠川保雄氏、下嶽岳芳氏、橋上智氏 ◇参加費=1,000円(昼食代) ◇申し込み=久

慈の名水を守る会(大沢さん、53-3070)

### 開発研修の受講生を募集

久慈職業能力開発センターでは、次の研修の受講生を募集します。◇受講時間・受講料=9時~16時・無料 ◇申し込み=定員15人。2週間前まで受け付け。同センター(53-6261) ◇コース=▼ホームページ作成(ブログ形式)(12/13~14)

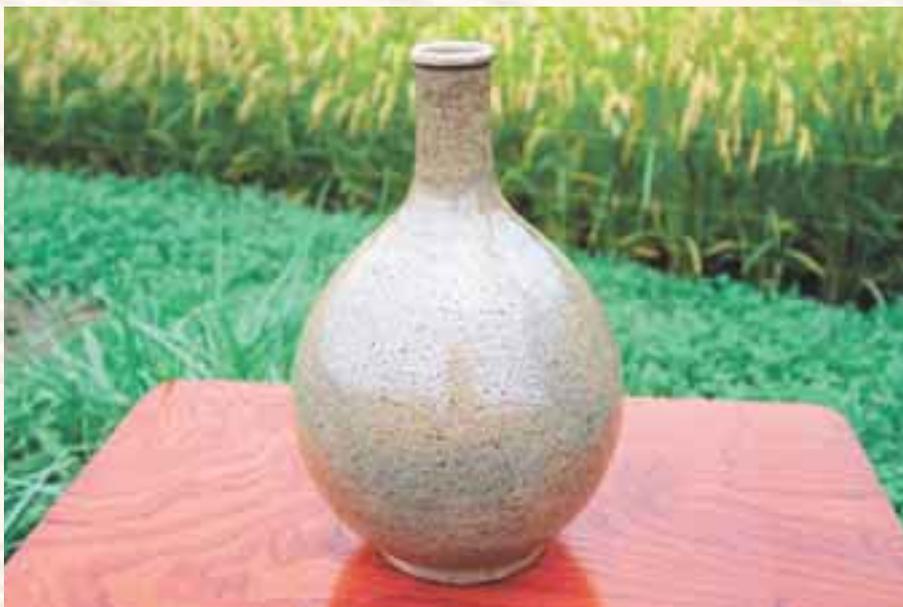
### スキルアップセミナー開催

◇日時=10月20日(金) 9時~16時 ◇会場=市防災センター ◇テーマ=マナーと仕事の関係をどうとらえるか! ~今すぐ使えるコミュニケーション術~ ◇申し込み=定員40人。参加無料。ジョブカフェいわてサテライト久慈(53-3344)

# みりょく再発見

7

## 伝わる民窯の煙



現存する数少ない鳥谷窯の壺＝工藤政男氏（夏井町）所有＝

「久慈市の民窯は？」と問われると、誰もが「小久慈焼」と口を揃えるだろう。

小久慈焼の開窯は文化10年（1813）江戶時代Ⅱ。相馬の陶工・嘉蔵に小久慈の熊谷甚右衛門が師事し、開窯した。はじめは大川目三日町といわれ、後に小久慈の天田内に移り、煙を上げた。今では珍しい、登窯による昔ながらの製法を守り続ける伝統の民窯である。

夏井町鳥谷の山林には、2基の登窯の跡がある。この窯は「鳥谷窯（別名・夏井猿畑焼）」と言われ、陶器も見つかっている。その土地の粘土を使い、泥を材料にした「釉薬」は小久慈焼と異なり、赤や茶など鮮やかで、色や形ともに評価が高い。学説により、稼動期間は小久慈焼より前とも後とも推測されている。

そのほか、同じ夏井町の平山でも登窯の跡が発見されており、「平山窯」と呼ばれている。

岩手の沿岸部では唯一、久慈に3つの窯が発見されていることは興味深い。岩手の厳しい風土で窯を開くことは至難の技。その中で、生活用具としての陶器を焼き続けた3つの窯のうち、現存するものは小久慈焼のみ。今は途絶えた煙も今なお昇る煙も、当時の生活を伝える貴重な遺産である。

## 編集後記

全国的に飲酒運転による事故が相次いでいます。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」は何よりも守るべき鉄則。飲酒によって犯した事故は、「事故」ではなく「犯罪」であることに十分に認識しましょう。▽あつという間に涼しくなってきました。スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋……。10月20～22日は久慈地方産業まつり。今年は「躍進いわての産業まつり」も開催され、県内の味覚が集合します。ぼくはやっぱり「食欲の秋」ですね。（中村）



みゆ 心結ちゃん（5カ月）  
（待浜町）菅原利則・裕美さんの長女

未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、応募ください。詳しくは、広報くじ担当（内線250）。